

# ゆう歯科口腔外科クリニック

歯科矯正治療

# 歯科矯正って何？

簡単にいうと、**歯並びを変える治療**です。

歯並びを、**その人自身の本来あるべき咬み合わせや食事の時に行う顎の動き等を支障なく行える状態に再構築**することを目標としています。

治療の過程で主に口元の印象を変えることができる場合もあります。

# 歯並びが悪いとどうなる？

以下のような障害が生じる可能性があります。

- ・ うまくものが咬めない
  - ・ 発音が悪くなる
  - ・ 顎が痛い、顎の位置がわからない
  - ・ 顎の骨格が変形する
  - ・ 虫歯や歯周病になりやすい
  - ・ 虫歯や入れ歯の治療が行いにくい
  - ・ 口元の見え目が悪い
- など

# 矯正治療の流れ

～相談から治療開始まで～

初診相談

健診で指摘された、歯並びが気になる、装置はどんなものがあるのか、治療費用、期間等遠慮なく何度でも御相談下さい。

検査

歯の型取り、X線画像を撮影します。検査結果から症状の分析を行います。



診断

検査の分析結果から問題点を抽出し、診断を行います。診断の後、治療計画の立案を行い、患者様へ御提示します。

治療開始

診断、治療計画に御本人の了承が得られた段階で治療開始に移行します。

# 矯正治療の方法・使用装置

## 小児を対象とした歯科矯正治療

混合歯列期（乳歯と永久歯が入り混じっている時期）である場合が多くなります。この時期の矯正治療の目標は大きく分けて次のように挙げられます。

- ・ 早期接触（咬み合わせた時に局所的にぶつかる部分）の除去
- ・ 上下の顎の前後的な位置、大きさの改善
- ・ 歯の生え変わりの誘導

### 混合歯列期に使用する代表的な装置



拡大装置

歯並びの横幅を広げる作用があります。

歯の生える場所の確保や咬み合わせの改善に用います。



上下の顎の前後的な位置、大きさを改善する目的で使用します。

機能的矯正装置



上下の顎の前後的な位置、大きさの改善や奥歯を移動する目的で使用します。

顎外固定装置



個々の歯の水平的・垂直的な位置、傾斜等を改善する目的で使用します。

部分的なブラケット、ワイヤーによる装置

# 矯正治療の方法・使用装置

## 成人を対象とした歯科矯正治療

永久歯列期（生え変わりは終了し、すべて永久歯である時期）が該当します。この時期の矯正治療の目標は大きく分けて次のように挙げられます。

- ・ 早期接触（咬み合わせた時に局所的にぶつかる部分）の除去
- ・ 上下歯列の位置関係の改善
- ・ 適正な咬み合わせの構築

### 永久歯列期に使用する代表的な装置と前処置



治療開始前

歯並びの状態にもよりますが、そのままだと歯を並べるのに必要な場所に対して現状のスペースが不足する場合があります。



補助的な装置と抜歯

時にはスペース確保のため抜歯することもあります。歯を抜いた後のスペースを有効に活用するために補助的な装置を使用することがあります。



ブラケットとワイヤーによる装置

個々の歯の水平的・垂直的な位置、傾斜等を改善する目的で使用します。永久歯列の場合は上下に装置を装着することで上下の咬み合わせも適正にします。

# 当クリニックの歯科矯正診療の特徴

## 無料相談の実施

初診相談は無料で行っております。健診で指摘された、歯並びが気になる、生え変わりが心配、矯正治療の必要性があるか等、遠慮なく何度でも御相談下さい。

## 治療対象

治療対象は小児から成人まで幅広く対応致します。

## 診療日

基本的には歯科矯正治療の治療サイクルである月に1回の頻度で診療を行っております。

## 外科的処置での連携

当院院長をはじめ経験豊富なスタッフと連携することにより抜歯等の外科的処置が必要な場合にも対応致します。